

湯浅、初のW杯3位

アルペンスキー 日本人4人目の表彰台



男子回転第3戦で3位に入った湯浅=A.P.

18日、イタリアのモドンナディカンピリオで男子回転第3戦が行われ、湯浅直樹(スポーツアルペンク)が2回の合計タイム1分44秒78で3位に入り、W杯で初の表彰台に立った。アルペンの男子で日本選手が表彰台に立ったのは、2006年3月に回転で2位となった佐々木明(ICI石井スポーツ)以来で、岡部哲也(回転2、3位)、木村公宣(同3位)、佐々木に次いで4人目。

湯浅は1本目で54秒13の26位と出遅れたが、2本目で全体の2番目の50秒65と好タイムを記録し、大きく順位を上げた。同じレースに出場した佐々木明は1回目で途中棄権した。

マルセル・ヒルシャー(オーストリア)が合計1分42秒50で、今季2勝目、

W杯通算14勝目を挙げた。フェリックス・ノイロイター(ドイツ)が2位。

(時事)

ゆあさ・なおき スポーツアルペンク所属。10歳で競技を始める。06年トリノ五輪男子回転で7位となり、4位だった皆川賢太郎とともに日本選手のアルペンでは50年ぶりの五輪入賞を果たした。11年世界選手権回転で6位。昨季のW杯回転では5位に2度入った。北海道東海大出。177センチ、74キロ。29歳。北海道出身。

(時事)